



独立行政法人

大学評価・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and University Evaluation

機構ニュース

Vol.154 2016 March

今月の記事

Top News

○「大学評価・学位授与機構で学士の学位をめ
ざす方への説明会」を開催1

学位授与事業

**短期大学・高等専門学校卒業生等を対象と
する単位積み上げ型の学位授与関係**

○平成28年度版「新しい学士への途」及び
「平成28年度4月期学位授与申請書類」の発
行 ほか2

○平成28年度学士の学位授与申請に係る申請
方法、受付期間及び試験日等4

○新たに2専攻を認定 ー平成28年度ー ほか
.....6

**機構認定の教育施設（各省庁大学校）の
課程修了者への学位授与関係**

○20人に博士の学位を授与 ー大学院博士程
相当の課程修了者ー12

○平成27年度学位記伝達式を開催 ー防衛医
科大学校医学教育部医学研究科を修了した者ー
.....12

○職業能力開発総合大学校を認定13

○審査対象となった1校2課程を「適」と判定
.....13

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○タイ全国教育水準・質評価局（ONESQA）
との覚書調印式及び Prof. Dr. Channarong
Pornrungsroj ONESQA局長による講演会の開
催14

質保証人材育成

○「平成27年度大学等の質保証に関する機構
職員研修【オプションプログラム】（第3
回）」を開催15

○「EAワークショップ『評価力を上げるため
の目的・計画の作り方&指標の選び方』」を開
催16

**諸外国の質保証制度・動向情報の収集・
整理・提供**

○新規刊行物のご案内 ー平成27年度大学質保
証フォーラム報告書18

機構の窓

○会議の開催状況19

主要行事日程

○Schedule（3月～5月）20

TOP NEWS

○「大学評価・学位授与機構で学士の学位をめざす方への説明会」を開催

当機構は、平成28年2月7日（日）に「大学評価・学位授与機構で学士の学位をめざす方への説明会」を放送大学と共同で開催しました。

当機構と放送大学は、平成26年度に、生涯学習社会における高等教育の推進という共通の目的の下、学位授与事業と大学教育活動で相互に協力していくための協定を締結しており、今回はその一環として行いました。

両機関のホームページ等から参加者を広く募集し、説明会当日は、会場となった放送大学東京文京学習センターがほぼ満員となる200名以上の方が参加しました。当機構の山田理事による開会挨拶の後、研究開発部教員が「単位積み上げ型の学士の学位授与制度」、「学位取得のための単位の修得－考え方と方法－」及び「学修成果の作成および試験についての留意事項」を主題に、当機構の制度による学位取得の流れを説明しました。

説明の後の質疑応答では、終了時刻までの45分にわたって参加者から活発な質問が飛び交いました。また、終了後に行われた個別相談会には47名の方が参加し、約1時間にわたり、学位授与制度に関する個別相談会を行いました。説明会参加者のアンケートによると、満足度は総じて高く、協定の下での初めての試みは盛況のうちに終了しました。

当機構と放送大学は、今後も継続して説明会を共同で開催することを予定しています。



200名以上の方が参加した説明会会場



個別相談会にも多数の方が参加

※ 「大学評価・学位授与機構で学士の学位取得をめざす方への説明会」の資料については、当機構のホームページから入手できます。

【ダウンロードの方法】

1. 大学評価・学位授与機構のホームページ上部にある『学位授与事業』をクリック。
2. 『学位授与事業に関するトピックス』をクリック。
3. 画面をスクロールし、[「大学評価・学位授与機構で学士の学位取得をめざす方への説明会」](#)
[（平成28年2月7日開催）](#)にある各種資料（PDF形式）をダウンロードする。

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■「新しい学士への途」及び「学位授与申請書類」について

○平成 28 年度版「新しい学士への途」及び「平成 28 年度 4 月期学位授与申請書類」の発行

平成 28 年度版「新しい学士への途」及び「平成 28 年度 4 月期学位授与申請書類」を発行しました。

「新しい学士への途」は、大学評価・学位授与機構が行う学士の学位の授与について、制度の目的、仕組み、学修方法、申請の手順などを解説したものです。

また、「学位授与申請書類」は、学位授与申請書類の記入上の注意と申請書類の各様式をとじたものです。

※「平成 28 年度 4 月期学位授与申請書類」で 10 月期の申請はできません。10 月期に申請をお考えの方は、7 月発行予定の「平成 28 年度 10 月期学位授与申請書類」を取り寄せてください。

平成 28 年度に学位授与申請を希望される方は、この「新しい学士への途」と「平成 28 年度 4 月期または 10 月期学位授与申請書類」を以下の方法により取り寄せた上で、学位授与申請の手続を行ってください。

※特例適用の認定を受けた専攻科修了見込みの者については、手続きが異なるため、別途確認してください。

○学士の学位授与制度及び申請方法等関連の刊行物

当機構では、学士の学位授与制度及び申請方法等について説明した冊子等を毎年度発行しています。

学士の学位授与申請をされる方は、必ず申請年度の◎印の冊子を取り寄せ、この制度の内容や記入上の注意等をよく読んでから、申請してください。

◎ 新しい学士への途

学士の学位授与について、制度の目的、仕組み、学修方法、申請の手順などを解説したもの

◎ 学位授与申請書類（4 月期申請）

学位授与申請書類の記入上の注意と申請書類の各様式をとじたもの

・ 学士をめざそう！

学士の学位授与について、学位取得者の体験談及び学位取得までの流れなどを簡単に説明したリーフレット

・ 大学評価・学位授与機構が授与する学位を理解いただくために

日本において大学以外で学位を授与できる唯一の機関である当機構が授与する学位について説明したリーフレット

※ 上記の冊子等（学位授与申請書類の一部を除く。）については、[当機構ウェブサイト](#)において PDF ファイル等にて公表しています。

○資料の請求方法

(1) テレメール（インターネット・自動音声応答電話）での請求方法

① 以下のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネットの場合 (スマートフォン・ パソコン・携帯電話)	http://telemail.jp/	スマートフォン・携帯電話 なら、バーコードを読み取 るだけでアクセスできま す。 
自動音声応答電話の場合	IP 電話 050-8601-0101	※一般電話回線からの通話 料金は日本全国どこからで も3分毎に約 12 円です。

② ご希望の資料の資料請求番号を入力してください。

資 料 名	部 数	資料請求 番 号	料 金 (送料含む)
『新しい学士への途』 【2月】	1 部 (※ ¹)	488724	300 円
『学位授与申請書類 (4月期申請)』 【2月】	1 部	488725 (※ ²)	300 円
『新しい学士への途』 および 『学位授与申請書類 (4月期申請)』【2月】	1 セット	488726 (※ ²)	350 円
学士をめざそう! (※ ³)	1 部	488727	180 円
大学評価・学位授与機構が授与する学位を 理解していただくために (※ ³)	1 部	488728	180 円

【 】は最新版の発行月です。学位授与申請にあたっては申請する年度・期のものをご利用ください。

※¹ 複数セットを請求する場合は、当機構ウェブサイトから請求してください。

※² 『学位授与申請書類 (10月期申請)』は平成28年7月に発行を予定していますので、7月以降
に請求してください。詳しい発行日は当機構ウェブサイトでお知らせします。

※³ 平成28年4月に改訂を予定しています。

③ ガイダンスに従ってお届け先等の登録を行ってください。

請求方法についてのお問い合わせ

テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

(2) 当機構のウェブサイトからの請求方法

[当機構ウェブサイト](#)から  テレメールを利用して資料請求できます。

○平成 28 年度学士の学位授与申請に係る申請方法、受付期間及び試験日等

1 申請方法

申請に当たっては、インターネットを利用した「電子申請」で行ってください。ただし、電子申請の場合であっても、証明書類や学修成果等の必要書類は、別途、期限までに機構に郵送（書留）する必要があります。

また、インターネットを利用できないなど、電子申請することができない場合には、すべての申請書類を期限までに機構に郵送（書留）することとなる「郵送申請」で行うこともできます。

2 受付期間等

(1) 電子申請

申請時期	受 付 期 間
4月期申請	○ データ入力 平成 28 年 3 月 15 日(火) ～ 平成 28 年 4 月 6 日(水) (最終日は 17 時までに送信完了) ○ 書類送付 平成 28 年 4 月 1 日(金) ～ 平成 28 年 4 月 7 日(木) (最終日は当日消印有効)
10月期申請	○ データ入力 平成 28 年 9 月 13 日(火) ～ 平成 28 年 10 月 6 日(木) (最終日は 17 時までに送信完了) ○ 書類送付 平成 28 年 10 月 1 日(木) ～ 平成 28 年 10 月 7 日(金) (最終日は当日消印有効)

※ 書類送付は、郵送（書留）による提出のみ受理します。

(2) 郵送申請

申請時期	受 付 期 間
4月期申請	○ 書類送付 平成 28 年 4 月 1 日(金) ～ 平成 28 年 4 月 7 日(木) (最終日は当日消印有効)
10月期申請	○ 書類送付 平成 28 年 10 月 1 日(土) ～ 平成 28 年 10 月 7 日(金) (最終日は当日消印有効)

※ 書類送付は、郵送（書留）による提出のみ受理します。

申請書類等の送付先	〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構管理部学位審査課
-----------	---

※独立行政法人大学評価・学位授与機構は、平成 28 年 4 月 1 日に、「独立行政法人大学改革支援・学位授与機構」となります。

(3) 学位審査手数料払込み

申請時期	受 付 期 間
4月期申請	○ 平成28年3月1日(火) ～ 平成28年4月7日(木)
10月期申請	○ 平成28年9月1日(木) ～ 平成28年10月7日(金)

※ ATMでの払込みはできませんので、窓口の営業時間に注意してください。

3 試験日・試験場

申請時期	試 験 の 区 分	試 験 場	試 験 日
4月期	小論文試験 (学修成果としてレポートを提出した者)	東 京	平成28年6月5日(日)
	面接試験 (専攻の区分「音楽」または「美術」でレポート以外の学修成果を提出した者)	大 阪	
10月期	小論文試験 (学修成果としてレポートを提出した者)	東 京	平成28年12月11日(日)
	面接試験 (専攻の区分「音楽」または「美術」でレポート以外の学修成果を提出した者)	大 阪	
10月期	小論文試験 (学修成果としてレポートを提出した者)	東 京	平成28年12月4日(日)
	面接試験 (専攻の区分「音楽」または「美術」でレポート以外の学修成果を提出した者)	大 阪	

問合せ先

電話 042-307-1550

FAX 042-307-1555

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

(土・日曜、祝日、年末年始を除く。)

■高等専門学校の専攻科に係る認定の審査について

○新たに2専攻を認定　－平成28年度－

平成27年9月に認定の申出のあった高等専門学校の専攻科について、各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成28年2月12日（金）開催の学位審査会において認定の可否について審査が行われました。審査の結果、2校2専攻を認定（平成28年度から適用）することとなり、機構長から専攻科の設置者等に通知しました。

高等専門学校専攻科（2校2専攻）

名 称		専 攻 名	入学 定員	修業 年限	設 置 者	適 用 時 期
1	岐阜工業高等専門学校	先端融合開発専攻	20	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成28年4月1日
2	呉工業高等専門学校	プロジェクトデザイン 工学専攻	40	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成28年4月1日

■高等専門学校専攻科の認定に係る再審査について

○審査対象となった2校2専攻を「可」と判定

平成27年度に学則等の変更の届出のあった認定専攻科のうち、教育課程に大幅な変更が生じると認められた専攻科について、認定の再審査が行われました。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成28年2月12日（金）開催の学位審査会において認定の再審査の可否について審査が行われ、審査対象となった2校2専攻が「可」と判定され、機構長から専攻科の設置者等に通知しました。

高等専門学校専攻科（2校2専攻）

名 称		専 攻 名	入学 定員	修業 年限	設 置 者	適 用 時 期
1	福島工業高等専門学校	産業技術システム工学 専攻	20	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成27年4月1日
2	大阪府立大学工業高等 専門学校	総合工学システム専攻	20	2	公立大学法人 大阪府立大学	平成28年4月1日

■認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

○審査対象となった24校42専攻を「適」と判定

当機構の認定を受けた短期大学及び高等専門学校の特攻科は、認定後、原則5年後、その後原則として7年ごとに教育の実施状況等についての審査を受けることとされています。

本年度は平成5年4月1日、平成10年4月1日、平成15年4月1日及び平成22年4月1日認定の特攻科に係る審査が行われました。

各専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成28年2月12日（金）開催の学位審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、審査対象となった24校42専攻（短期大学専攻科10校14専攻、高等専門学校専攻科14校28専攻）すべてが「適」と判定され、機構長から専攻科の設置者等に通知しました。

＜平成27年度教育の実施状況等の審査の結果、「適」と判定された専攻科一覧＞

1. 短期大学専攻科（10校14専攻）〔教員審査（6校9専攻）〕

名 称		専 攻 名	入学 定員	修業 年限	設 置 者
1	倉敷市立短期大学	保育臨床専攻	5	2	倉敷市
		服飾美術専攻	5	2	
2	大分県立芸術文化短期大学	音楽専攻	20	2	公立大学法人大分県立 芸術文化短期大学
3	聖徳大学短期大学部	服飾文化専攻	10	2	学校法人東京聖徳学園
4	常葉大学短期大学部	音楽専攻	20	2	学校法人常葉学園
		保育専攻	20	2	
5	愛知医療学院短期大学	リハビリテーション科学専攻	20	1	学校法人佑愛学園
6	名古屋柳城短期大学	保育専攻	15	2	学校法人柳城学院
7	京都嵯峨芸術大学短期大学部	デザイン専攻	18	2	学校法人大覚寺学園
		美術専攻	12	2	
8	京都聖母女学院短期大学	児童教育専攻	30	2	学校法人聖母女学院
9	鳥取短期大学	食物栄養専攻	10	1	学校法人藤田学院
		国際文化専攻	10	2	
10	比治山大学短期大学部	美術専攻	15	1	学校法人比治山学園

2. 高等専門学校専攻科（14校 28専攻）〔教員審査（12校 22専攻）〕

名 称		専 攻 名	入学 定員	修業 年限	設 置 者
1	苫小牧工業高等専門学校	電子・生産システム工学専攻	12	2	独立行政法人
		環境システム工学専攻	8	2	国立高等専門学校機構
2	仙台高等専門学校	生産システムデザイン工学専攻	40	2	独立行政法人
		情報電子システム工学専攻	30	2	国立高等専門学校機構
3	小山工業高等専門学校	複合工学専攻	20	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
4	東京工業高等専門学校	機械情報システム工学専攻	8	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		電気電子工学専攻	8	2	
		物質工学専攻	4	2	
5	富山高等専門学校	エコデザイン工学専攻	24	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		制御情報システム工学専攻	8	2	
		国際ビジネス学専攻	4	2	
6	長野工業高等専門学校	生産環境システム専攻	12	2	独立行政法人
		電気情報システム専攻	8	2	国立高等専門学校機構
7	鈴鹿工業高等専門学校	応用物質工学専攻	8	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
8	奈良工業高等専門学校	機械制御工学専攻	8	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		電子情報工学専攻	8	2	
		化学工学専攻	4	2	
9	松江工業高等専門学校	生産・建設システム工学専攻	8	2	独立行政法人
		電子情報システム工学専攻	12	2	国立高等専門学校機構
10	津山工業高等専門学校	機械・制御システム工学専攻	8	2	独立行政法人
		電子・情報システム工学専攻	8	2	国立高等専門学校機構
11	宇部工業高等専門学校	生産システム工学専攻	12	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構
		物質工学専攻	4	2	独立行政法人 国立高等専門学校機構

12	新居浜工業高等専門学校	生産工学専攻	8	2	独立行政法人
		電子工学専攻	8	2	国立高等専門学校機構
13	久留米工業高等専門学校	機械・電気システム工学専攻	12	2	独立行政法人
		物質工学専攻	8	2	国立高等専門学校機構
14	神戸市立工業高等専門学校	電気電子工学専攻	8	2	神戸市

■短期大学及び高等専門学校の認定専攻科の特例適用認定に係る審査について

○9校9専攻を認定 ―平成28年度―

平成27年度10月期の学位授与申請より導入した、当機構の認定を受けた短期大学及び高等専門学校の専攻科（認定専攻科）の修了見込の者を対象とする、学修の成果に基づく新たな審査方式（学位規則第6条第1項の規定に基づく学士の学位の授与に係る特例）の適用を希望する認定専攻科について、平成27年4月に特例の適用認定申出の受付を行いました。申出のあった短期大学及び高等専門学校の認定専攻科に対しては、各専門委員会における適用認定の要件に係る審査の結果に基づき、学位審査会において認定の可否について審査が行われ、うち7校7専攻については8月21日（金）開催の学位審査会において、平成27年度実施の専攻科の認定後最初の教育の実施状況等の審査の結果、又は、平成27年度実施予定の専攻科の認定の再審査の結果が確定するまで結果を保留としていた2校2専攻については、平成28年2月12日（金）開催の学位審査会の審査結果をもって認定され、機構長から専攻科の設置者等に通知しました。

1. 短期大学専攻科（1校1専攻）

名 称		専 攻 名	設 置 者	特 例 適 用 認 定 年 月 日
1	倉敷市立短期大学	保育臨床専攻	倉敷市	平成28年4月1日

2. 高等専門学校専攻科（8校8専攻）

名 称		専 攻 名	設 置 者	特 例 適 用 認 定 年 月 日
1	八戸工業高等専門学校	産業システム工学専攻	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成28年4月1日
2	鶴岡工業高等専門学校	生産システム工学専攻	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成28年4月1日
3	福島工業高等専門学校	産業技術システム工学専攻	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成28年4月1日
4	富山高等専門学校	国際ビジネス学専攻	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成28年4月1日
5	舞鶴工業高等専門学校	総合システム工学専攻	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成28年4月1日
6	新居浜工業高等専門学校	生産工学専攻	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成28年4月1日
7	北九州工業高等専門学校	生産デザイン工学専攻	独立行政法人 国立高等専門学校機構	平成28年4月1日
8	近畿大学工業高等専門学校	生産システム工学専攻	学校法人近畿大学	平成28年4月1日

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

■機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

○20人に博士の学位を授与　－大学院博士課程相当の課程修了者－

平成27年9月に防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した博士の学位授与申請者等に対して、医学・薬学専門委員会において、論文審査及び口頭試問が行われました。
この審査結果に基づき、平成28年2月12日(金)開催の学位審査会において最終審査が行われ、20人に対して学位を授与することを決定しました。

＜博士の学位授与者数＞

認 定 課 程 名	専攻分野	授与者数 (人)
防衛医科大学校医学教育部医学研究科	医 学	20

○平成27年度学位記伝達式を開催　－防衛医科大学校医学教育部医学研究科を修了した者－

当機構は、防衛医科大学校の大学院に相当する教育課程を修了した者のうち、当機構における審査（学位論文及び口頭試問）を受け、合格した博士20名に対して、平成28年2月23日（火）、千代田区一ツ橋の当機構竹橋オフィスにおいて、学位記伝達式を開催しました。

伝達式では、各関係者列席のもと、防衛医科大学校の三浦校長へ学位記が伝達され、野上機構長から「学位の質を保証し、国際的な通用性を担保するために、今後とも貴大学との緊密な連携をはかりながら精進を重ねていきたい。」との挨拶により伝達式はしめくられました。また、伝達式終了後、防衛医科大学校との懇談会が行われ、機構長、理事、研究開発部の教員との意見交換が行われました。



平成27年度学位記伝達式の様子

■省庁大学校の課程に係る認定の審査について

○職業能力開発総合大学校を認定

平成27年9月に認定の申出があった職業能力開発総合大学校について、専門委員会における教育課程及び教員組織等の審査結果に基づき、平成28年2月12日（金）開催の学位審査会において認定の可否について審査が行われ、課程を認定することが決定され、機構長から所管省庁及び大学校に通知しました。

大学院の修士課程に相当する教育を行う課程（1校1課程）

名 称	課 程	入学 定員	修業 年限	所 管 省 庁
1 職業能力開発総合大学校	長期養成課程職業能力開発研究学域	20	2	厚生労働省

■認定課程に係る教育の実施状況等の審査について

○審査対象となった1校2課程を「適」と判定

当機構の認定を受けた省庁大学校の課程は、認定後、原則5年ごとに教育の実施状況等についての審査を受けることとされています。

各専門委員会における教員組織等の審査結果に基づき、平成28年2月12日（金）開催の学位審査会において教育の実施状況等の適否について審査が行われ、審査対象となった1校2課程いずれも「適」と判定され、機構長から各所管省庁及び各大学校に通知されました。

＜平成27年度教育の実施状況等の審査の結果、「適」と判定された省庁大学校の課程一覧＞

1. 大学の学部に対応する教育を行う課程（1校1課程）

名 称	課 程	入学 定員	修業 年限	所 管 省 庁
1 国立看護大学校	看護学部看護学科	100	4	厚生労働省

2. 大学院の修士課程に相当する教育を行う課程（1校1課程）

名 称	課 程	入学 定員	修業 年限	所 管 省 庁
1 国立看護大学校	研究課程部看護学研究科	15	2	厚生労働省

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○タイ全国教育水準・質評価局（ONESQA）との覚書調印式及び Prof. Dr. Channarong Pornrungroj ONESQA 局長による講演会の開催

2016年3月3日(木)、当機構とタイ全国教育水準・質評価局（Office for National Education Standards and Quality Assessment：ONESQA）は、当機構竹橋オフィスにて連携協力に係る覚書を締結しました。今回の覚書の締結により、両機関の質保証にかかる情報や知見の交換を中心に、緊密な連携を図っていくこととしています。

ONESQA は、タイにおいて高等教育を含む、全教育段階の第三者評価を実施しています。うち、高等教育の評価に関しては、2011年から2015年までの評価期間が終わり、2016年末から新評価期間に入ります。現在、この新評価期間の実施に向けて評価指標等の再検討が行われているとのこと。また、ONESQA の Channarong Pornrungroj 局長は、ASEAN 質保証ネットワーク(ASEAN Quality Assurance Network：AQAN)の会長も務めており、タイのみならず、ASEAN における高等教育の質保証活動においても中心的な役割を担っています。

今回、ONESQA からは、Pornrungroj 局長ほか4名が来訪し、当機構からは野上機構長、岡本理事をはじめ6名の教職員が迎えました。調印式では、当機構の土屋評価研究主幹及び森教授が事業紹介を行った後、両機関の今後の連携活動に関する意見交換が行われ、最後に、野上機構長および Pornrungroj 局長により、覚書の署名が行われました。

また、調印式の後、Pornrungroj 局長による講演会を開催し、32名の参加がありました。Pornrungroj 局長からは、タイの第三者評価の傾向と変遷に関して、特に3分類の KPI（基本的指標、機関の特徴を示す指標、社会的責任を示す指標）、評価活動の3つの方針(Better, Together, Simplify)、2010年に開始した 149（One for Nine）プロジェクト（質保証について優れた1機関が、9機関を指導支援する取組）、さらに、次期評価期間の評価活動の方向性について発表があり、現在のタイにおける評価活動への理解を深める有意義な機会となりました。



調印式出席者の集合写真



講演会の様子

質保証人材育成

○「平成 27 年度大学等の質保証に関する機構職員研修【オプションプログラム】（第3回）」を開催

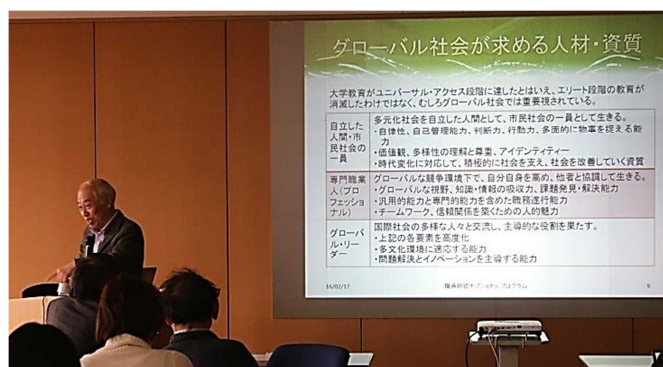
平成 28 年 2 月 17 日（水）に平成 27 年度大学等の質保証に関する機構職員研修【オプションプログラム】（第3回）を小平本館で開催しました。今回の研修は、平成 27 年 6 月 18 日（木）開催の【基本プログラム】に引き続き、複数回に渡り実施している【オプションプログラム】の第3回目として実施しました。

当日は、機構の様々な部署より約 80 名の教職員の参加がありました。

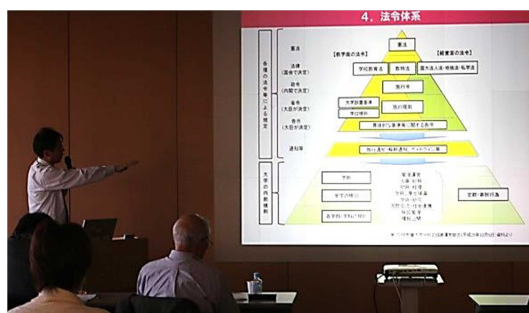
はじめに、川口顧問より、【基本プログラム】で取り扱った質保証に係る基礎的な内容をふまえ、さらに事業に係る背景知識を習得するために、「高等教育質保証の国際的動向と将来像」について講義が行われ、参加者は講義に熱心に聞き入りました。次に、小山田評価企画課長より「日本の高等教育の概要と質保証の歴史」について講義が行われた後、最後に、鎌塚評価事業部長より「大学改革の動向」について講義が行われました。「日本の高等教育の概要と質保証の歴史」及び「大学改革の動向」については、平成 26 年度に「高等教育質保証研修」として、機構内の職員向けに実施した内容をブラッシュアップさせた形での実施となりました。また各講義終了後には、大学のランキングに対する考え方についての質問等、熱心な質疑応答が行われました。

今回の研修は、参加者にとって事業の背景知識を習得することで、日常業務への理解を深めるとともに、職務遂行能力の向上を図る良い契機となりました。

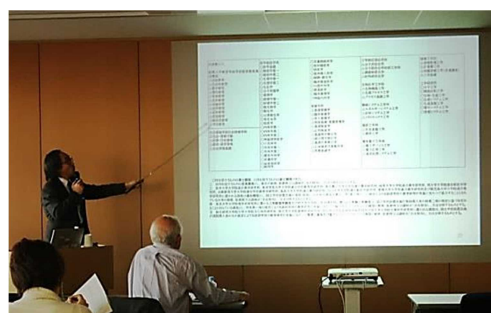
また、今年度から新たに全 4 回（【基本プログラム】、【オプションプログラム】（第 1～3 回））に渡り実施された「大学等の質保証に関する機構職員研修」ですが、全体的に多数の職員が参加し、また各研修後に実施されたアンケート結果からも、参加者の満足度の高さが読み取れ、職員にとって大変関心度が高く、有意義な研修となったことが伺えました。



講義を行う川口顧問



講義を行う小山田評価企画課長



講義を行う鎌塚評価事業部長

○「EAワークショップ『評価力を上げるための目的・計画の作り方&指標の選び方』」を開催

平成28年1月28日(木)、1月29日(金)に「EAワークショップ『評価力を上げるための目的・計画の作り方&指標の選び方』」を、竹橋オフィスで開催しました。

EAワークショップは、機構のEA(Evaluability Assessment)研究会で開発している教材とコンテンツを基に、現在取組んでいる質保証連携事業の一環として実施したもので、計画立案段階で現行の課題や問題を可能な限り把握し、適切な指標等の設定を行うための視点の提供を目的としています。

今回のワークショップでは、昨年度の主な参加機関の国立大学、私立大学に加えて、大学共同利用機関法人、民間企業といった様々な機関から、計31名の参加がありました。

ワークショップ1日目は、機構の武市研究開発部長より開会の挨拶が行われた後、田中研究開発部教授よりEA教材の紹介と使い方等について説明がありました。次に、研究会メンバーである山形大学の浅野教授より演習課題と演習の進め方の説明があり、参加者を6つのグループに分けて、演習課題とEA教材を用いた演習が行われました。

ワークショップ2日目は、1日目に引き続き演習課題とEA教材を用いた演習が行われた後、渋井研究開発部准教授より指標設定における信頼性・妥当性についての説明とチェックリストの紹介がありました。その後、演習の振り返りが行われ、最後に土屋評価研究主幹より講評がありました。なお2日間に渡り実施された演習の中では、各班による演習結果の発表の機会が多数設けられました。

ここ数年、ステップごとに開催していたEAワークショップですが、今回は、これまでの研修の参加者からの要望もあり、ステークホルダーの整理、課題の分析、目的・計画の作成、指標の設定とチェックまでの一貫したプロセスを2日間かけて習得するという、新たな試みでした。扱ったテーマも、「地域連携の推進」を目的とする仮想の大学における問題の把握と解決を例題として、今回新たに作成したものでした。ワークショップでは、役職や属性の類似する大学等の方々に編成したグループに、研究会メンバーをファシリテータとして配置し、参加者の大学等における経験の共有や意見交換を通して具体的なイメージをすることで、活発にご議論いただきました。また、演習やグループ討議の結果の発表を通じて、各グループにおける議論の内容を参加者間で共有いただき、盛会のうちにワークショップを終えることができました。



EA教材の説明を行う田中研究開発部教授

タイムスケジュール等の詳細は以下のとおり。

タイムテーブルと研修内容

1 月 28 日 (木)	13:00~13:15	主催者挨拶及び趣旨説明	ステップ1：関係者の把握、課題・問題の分析 ・関係者を把握し、大学における諸活動から課題を発見します。課題を複数挙げ、その課題の原因を考えつつ、課題（原因→結果のペア）をグループ化していきます。 ・途中で、中心的な問題が見えてきますので、それを中心に各グループに関連づけていきます。（中心になる問題をどう設定するかは、グループのメンバーの考え方や活動を取り囲む環境によって異なります。） ◇これらの作業によって、各課題の因果関係を明確にします。
	13:15~14:15	講義1：EAツールの紹介	
	14:15~14:30	休憩	
	14:30~17:15	演習1：ステップ1と結果発表 ○架空の大学の演習課題を基に課題を整理・分析して計画を考えていただき、その結果を発表していただきます。	
1 月 29 日 (金)	17:15~18:15	演習2：ステップ2 ○演習1の課題系図を基に目的系図の作成、実行プロジェクトの選定等を実践していただきます。	ステップ2：目的の整理、計画の作り方 ・ステップ1で分析した「原因→結果」を「手段→目的」とリバーシさせることで「こういう原因でこういう課題が発生している」ということが「ここをやれば、この課題が解決できる」という図になります。この図を目的系図といいます。 ・目的系図は、いくつかの課題をひとまとまりにし、グループ化したわけですが、課題が適切に関連づけられた目的系図があれば、「改善計画」が見出しやすくなります。 ◇課題を原因と結果の因果関係で整理することで、解決と改善のアプローチを見出します。
	18:15~19:15	情報交流会（任意参加）	
	10:00~10:50	1日目の振り返りと演習2の結果発表 ○演習2の作業完了と、その結果を発表していただきます。	
	10:50~12:30	演習3：ステップ3 ○演習2の作業結果を基に目的・計画にあった指標設定に係る作業を実践していただきます。	
	12:30~13:30	昼食・休憩	
	13:30~14:20	演習3：ステップ3と結果発表 ○演習3の作業完了と、その結果を発表していただきます。	
	14:20~14:30	休憩	
(金)	14:30~15:20	講義2：指標の信頼性・妥当性の確認 ○演習3の作業結果を踏まえて、指標の信頼性や妥当性を確認するためのチェックリストを紹介させていただきます。	ステップ3：指標デザインとデータの整理 ・改善計画を実施する際の指標を考えます。課題は「目的→手段」という単位で最初に整理をしているため、この単位ごとに指標を考えていきます。 ◇指標を設定すれば、あとはその指標が現在どうなっていて、それをどうしたいのか、ということで改善計画を現実化し、それに沿って行動できます。この指標を用いて進行管理をするという、評価担当者の責務を果たすためのヒントを見出します。
	15:20~15:45	グループワークの振り返り	
	15:45~16:00	総括	

なお、当日の配布資料及び参加者アンケートの結果等については、[こちら](#)よりご覧になれます。

加えて、これまで開催したワークショップ（研修会）に関しては、以下のウェブページをご参照願います。平成26年度及び平成25年度にはステップ3（指標の選定・デザイン）、平成24年度の研修会には、ステップ1とステップ2（課題整理と目的・計画設定）に関する講義及び演習を重点的に行っています。

- ・ [EA研修会「自己評価能力を高めるための目的・計画と指標の作り方に関する研修会」](#)
（平成25年2月8日開催）
- ・ [EA研修会「自己評価能力を高めるための目的・計画と指標の作り方に関する研修会—ステップ3—」](#)
（平成26年2月7日開催）
- ・ [EAワークショップ「指標の選び方&指標信頼性・妥当性のチェックリスト」](#)
（平成27年1月29日開催）



演習の状況



演習結果の発表

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○新規刊行物のご案内 ー平成 27 年度大学質保証フォーラム報告書

当機構では、国内外の高等教育質保証の基礎情報や動向をはじめ、国際的な共同教育プログラムの質保証を図るうえで有益な海外の情報や事例を収集し、刊行物や概要資料にまとめて関係者に広く発信しています。

今回は、新規刊行物として、平成 27 年度大学質保証フォーラム「知の質とは - アカデミック・インテグリティの視点から - 」を平成 28 年 3 月に刊行しましたので、ご案内します。

平成 27 年度大学質保証フォーラム報告書



平成 27 年 7 月 27 日(月)に一橋講堂で当機構が開催した平成 27 年度大学質保証フォーラム「知の質とは - アカデミック・インテグリティの視点から - 」(後援：公益財団法人大学基準協会、公益財団法人日本高等教育評価機構、一般財団法人短期大学基準協会、認証評価機関連絡協議会)の登壇者の発表概要・資料等を掲載するとともに、当日の様子を写真を交えて紹介しています。

新規刊行物掲載先： 国際連携ウェブサイト

http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/

機構の窓

○会議の開催状況

・学位審査会

第4回 平成28年2月12日（金） 15：00～17：00

議事

- (1) 短期大学及び高等専門学校卒業者に係る学士の学位授与の審査について
- (2) 認定課程修了者に係る修士の学位授与の審査について
- (3) 認定課程修了者に係る博士の学位授与の審査について
- (4) 認定課程修了見込者に係る修士の学位授与の審査について
- (5) 認定課程修了見込者に係る博士の学位授与の審査について
- (6) 認定課程修了予定者（留学生）に係る修士及び博士の学位授与の審査について
- (7) 認定課程修了予定者に係る学士の学位授与の審査について
- (8) 高等専門学校の専攻科に係る認定の審査について
- (9) 高等専門学校の専攻科に係る認定の再審査について
- (10) 平成27年認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について
- (11) 省庁大学校の課程に係る認定の審査について
- (12) 平成27年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査について
- (13) 短期大学及び高等専門学校の特例適用専攻科に係る変更の届出の審査について
- (14) 特例適用専攻科における教育の実施状況等の審査について
- (15) 認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査について
- (16) 学士の学位授与に係る修得単位の審査要項の一部改正について
- (17) 平成28年度の審査スケジュールについて
- (18) その他

主要行事日程

○ Schedule

3月

日	行事名	担当課
8日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第4回）	評価支援課
10日	法科大学院認証評価委員会（第3回）（書面審議）	評価支援課
11日	大学機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課
11日	大学ポートレート運営会議（第4回）	大学ポートレート センター事務室
11日	学位審査会（平成27年度第5回）	学位審査課
15日	国立大学法人等の教育研究評価に係る評価者研修会	評価企画課
15日～ 4月6日	平成28年度4月期 学位授与電子申請受付期間	学位審査課
17日	国立大学法人等の教育研究評価に係る評価者研修会	評価企画課

4月

日	行事名	担当課
1日～7日	平成28年度4月期 学位授与郵送申請受付期間	学位審査課
28日	平成28年度認証評価機関連絡協議会評価担当職員研修	評価企画課

5月

日	行事名	担当課
13日	学位審査会（平成28年度第1回）	学位審査課

